

高圧ガス製造事業所製造設備一覧表

(冷凍事業所除く)
平成 年 月 日作成

事業所名											
所在地											
連絡先	TEL	FAX				担当者氏名					
事業所形態	充填、オート、自家消費、精製、その他 () 該当するもの全てに										
製造施設の名称	設備区分	ガス名	処理能力 (Nm ³ /日)	周期	当初完成検査	前回保安検査		今年度保安検査		設備概要	備 考
					年 月 日	年 月 日	検査機関名	年 月 日	検査機関名		
	定 移 CE									貯槽 t・t 基	
	定 移 CE									ポンプ 台	
	定 移 CE									圧縮機 台	
	定 移 CE									蒸発器 台	
	定 移 CE									凝縮器 台	
	定 移 CE									その他熱交換器 台	
	定 移 CE									その他の処理設備 台	
	定 移 CE										
	定 移 CE										
処理能力合計											

注)

- 1 事業所内の全ての高圧ガス製造施設を記載すること。
- 2 製造施設の名称は、液化石油ガス製造設備、酸素製造設備、液化窒素製造設備等の例により記載し、保安検査の対象区分毎に記載すること。
- 3 保安検査を要しない小規模非連結設備(単独二種相当)についても記載し、備考欄にその旨記載すること。
- 4 指定設備(法第56条の7該当)についても記載し、備考欄にその旨記載すること。この場合、処理能力は記載不要とする。
- 5 指定保安検査機関、KHK等、県以外で受検する設備についても記載すること。
- 6 配管で接続されていない同一ガスの製造設備が複数ある場合(例 液化窒素製造設備(CE)ローリ-が複数ある場合)で、検査周期(時期)が同じである場合でも各々記載すること。
- 7 当初完成年月日とは、保安検査対象設備を当初に設置した際の完成検査年月日である。(途中の変更工事の完成検査年月日ではない。)
- 8 検査周期の異なる設備が混在する場合等で、法令で定める周期(時期)を前倒している場合は、その旨備考欄に記載すること。
- 9 休止施設についても記載し、備考欄にその旨(休止期間)を記載すること。
- 10 紙面が不足する場合は、適宜、表を追加して記載すること。